

NPO 法人 Matsudo 子どもの未来へ with us (略称ウィザス)

第 2 期事業報告

2020 年 7 月 1 日から 2021 年 6 月 30 日まで

第 2 期の私たちの活動は長引くコロナ禍により大勢の人が一堂に会することができない状況下で大きく制限を受けざるを得なかった。まず、どのように子どもの居場所をとらえていくか、について、実践者で検討を重ね、それぞれの現場のなかで、できる範囲のことをしていくことを支援していく期間となった。また、社会的にも困難に陥る家庭が増えていく中で、他機関との連携で個別支援をせざるを得ない居場所の運営者と官民の協力関係をどのように作っていくかの議論を重ねた。以前よりニーズを実感していた 10 代の子どもの居場所づくりのモデル事業に取り組み、縁を得て with us 北松戸の運営を始めた。

特定非営利活動に係る事業

1. 子どもの居場所の立ち上げ支援及び居場所運営者に対する運営基盤強化支援事業

①子どもの居場所づくりサポート助成

子どもの居場所づくりについて、サポートプログラムを作成した。

それに基づき下記 4 団体に立上げ支援金助成を行った。

A スタートアップ支援金

「アイギスこども食堂」(梨香台)

「子どもが創る子ども食堂」(大橋)

「こむすびキッチン」(根本)

B 出張子ども食堂

「子ども食堂 5 つのパンと 2 匹の魚」(五香西)

2. 子どもの居場所ネットワーク構築事業

実施なし

3. 子どもの居場所運営者に対する人材研修事業

実施なし

4. 子どもの居場所に関する普及啓発事業

①シンポジウムを開催

【タイトル】with コロナ時代の子どもの居場所づくり

～すべての小学校区に子どもの居場所を作るには～

【日時と場所】2021 年 1 月 23 日(土) 松戸市民会館 301 会議室 ※zoom 配信

【基調講演】認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長 湯浅誠さん

「全国の子ども食堂の現状と with コロナ時代における子ども食堂の今後の展望」

【パネルディスカッション】

市内の子どもの居場所運営者 4 名によるパネルディスカッション

【参加者】会場約 25 名、オンライン約 65 名 両方で約 80 人参加

②10代の居場所モデル事業

2020年10月23日 with us 北松戸開設

2021年2月11日 with us 北松戸オープンデイ（見学会）

2021年6月までの利用実績延38名

③子ども食堂デモ開催の協力

2021年3月11日 東松戸駅商業施設前でキッチンカーを派遣、

現地に近い河原塚みんなのダイナーと協力して、子ども食堂のデモを開催。

④講演活動（代表理事）

2021年5月15日 千葉県ライオンズクラブ（@木更津）

2021年5月27日 松戸倫理法人会

5 子どもの居場所に関する調査・研究・提言事業

支援が必要な家庭に向けて、個別支援依頼が行政機関から居場所の運営者に来ていますが、明確なしくみがないままに継続されている。そのことから、行政職員との打ち合わせを2回、運営者同士での話し合いの機会を1回持った。